



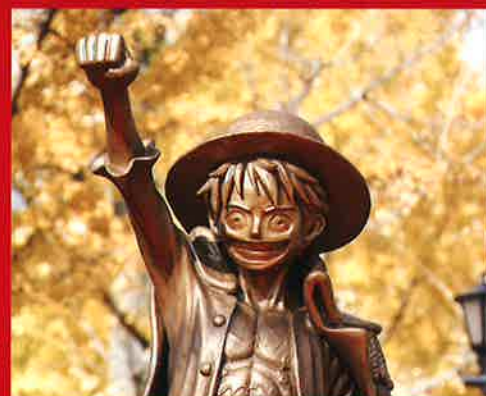
「熊本の復興を手助けしたい」という熊本県出身の漫画家 尾田栄一郎先生の想いから始まった「ONE PIECE 熊本復興プロジェクト」。2018年には常設では世界初となるルフィ像が県庁に設置され、2019年からは被災地の復興を後押しするため、「麦わらの一味」の像が県内各地に8体も設置されます。

**STORY**

熊本地震の甚大な被害を聞きつけた船長ルフィは、仲間たちに被災地の復興の手助けを指示。仲間たちは、それぞれの特技で被災地の問題解決の手助けを行う...



**「麦わらの一味」仲間たちの像**  
設置場所



熊本県庁  
船長 **ルフィ**



大津中央公園  
戦闘員 **ゾロ**  
子ども達が稽古に励んだ武道場の被災をはじめ生活が一変した大津町には、「戦闘員」のゾロが駆け付ける。剣道が盛んな土地柄を活かして、子どもたちと広場で剣の修行を重ね、地震に負けない町づくりを目指す。



俄山交流館 朝の里  
航海士 **ナミ**  
集落単位で被害を受け、コミュニティの再建が課題である西原村には、「航海士」のナミが駆け付ける。ココヤシ村での経験に重ねながら、被災した村のシンボルの風車と全集落の復興に応援の風を送り続ける。



JR阿蘇駅前  
狙撃手 **ウソップ**  
住民の誇りである阿蘇の大草原が大きく傷んだ阿蘇市には、「狙撃手」のウソップが駆け付ける。緑(自然)の力を操る道具で、草原の再生を手助けし、住民の誇りと笑顔を取り戻す。



益城町交流情報センター「ミナテラス」  
料理人 **サンジ**  
2度の震度7の地震で給食センターが被災した益城町には、「コック」のサンジが駆け付ける。地元農産物を使い、美味しく温かい給食を作ること町の未来を担う子どもたちの健康と笑顔を創り出す。



熊本市動物園  
船医 **チョッパー**  
地震で閉舎(じゅうしゃ)が被災した熊本市動物園には、「船医」のチョッパーが駆け付ける。県外の動物園への避難を余儀なくされた動物たちのケアを行い、来園する子どもたちの笑顔を創り出す。



東海大学阿蘇校舎  
考古学者 **ロビン**  
地震の被害や教訓を後世に伝承する拠点に生まれ変わる東海大学には、「考古学者」のロビンが駆け付ける。南阿蘇村の「復興」が花開くよう、歴史の語り部として研究を重ね、記憶と教訓を語り継ぐ手助けを行う。



南阿蘇鉄道 高森駅前  
船大工 **フランキー**  
通院・通学の足である南阿蘇鉄道が寸断された高森町には、「船大工」のフランキーが駆け付ける。海列車を作った師匠トムのように、被災地域の希望となるべく、鉄道の終着駅で全線再開への金槌を鳴らす。



御船町ふれあい広場  
音楽家 **ブルック**  
音楽大学に加え、多くの住宅が被害を受けた御船町には、「音楽家」のブルックが駆け付ける。音大生と奏でる復興への応援歌と軽快なジャズで住民の心の復興を後押しし、町の明るい復興を目指す。

# 熊本地震から学ぶ教育旅行

vol.04

## 防災・減災教育旅行プログラムの取り組みについて

熊本市、阿蘇市、益城町、南阿蘇村では、2016年4月に発生した熊本地震を契機に、熊本県とともに「防災・減災教育旅行プログラム」を作成しました。地震を予測することは不可能ですが、私たちが日常から自分が住んでいる地域でも起こりうることを考え、その備えや取るべき対応を身につけることで被害は少なくなります。私たちが熊本地震で経験したこと、学んだことを伝え、生徒の皆さんが自分自身のこととして様々なことを学び、「生きる力」を育むきっかけにしていきたいと思えます。



裏表紙をチェック!

### くまもとの教育旅行のさまざまなプログラムに関することは

**熊本県観光物産課 観光振興班**  
〒862-8570  
熊本市中央区水前寺6丁目18番1号  
TEL.096-333-2335  
FAX.096-385-7077

**(公社)熊本県観光連盟**  
〒862-0950  
熊本市中央区水前寺6丁目5番19号  
TEL.096-382-2660  
FAX.096-382-2663

**熊本県教育旅行サイト**  
熊本県教育旅行サイト  
<https://kumamoto.guide/shugaku>





## 熊本市 PROGRAM 今こそ見てほしい熊本城 ～記憶の記録～

熊本地震で被災した熊本城。お城に毎日関わるからこそ持つことができた郷土愛や防災意識について語ります。今こそ見てほしい熊本城の姿があります。

### ○ スケジュール (所要時間:120分)

#### 朝プログラム

- 8:20… 受付・オリエンテーション(わくわく座)
- 8:25… わくわく座貸切プログラム(30分)
- 8:55… トイレ休憩(10分)
- 9:05… 熊本城ガイド(75分)
- 10:20… わくわく座到着・解散(わくわく座)

#### 夕方プログラム

- 16:00… 受付・オリエンテーション(わくわく座)
- 16:05… 熊本城ガイド(75分)
- 17:20… トイレ休憩(10分)
- 17:30… わくわく座貸切プログラム(30分)
- 18:00… 解散(わくわく座)

### ○ 見学ポイント

熊本城ミュージアムわくわく座を特別に貸し切り、熊本城の秘密や仕組みをVR映像で鑑賞。また、震災直後の熊本城の様子をドローン映像で紹介すると共に、スタッフが熊本地震の体験談を語ります。併せて、日々間近で熊本城を見守ってきたガイドさんならではの目線で、最新の熊本城の復旧状況を実際に紹介します。



熊本城(地震前)のVR映像紹介



熊本地震直後の映像で被災状況を説明

### ○ 受入人数

30～160人程度(1～4クラス)  
※該当人数以外の場合はご相談ください

### ○ 対象

中学生、高校生

### ○ 料金

中学生:1,000円、高校生:1,200円

### ○ 受付場所

熊本城ミュージアムわくわく座

### ○ 受付時間

9:00～17:00

### ○ 受付方法

FAX ※申込用紙はホームページからダウンロード

### ○ 受付締切

1ヶ月前

### ○ 申し込み・問い合わせ

熊本城ミュージアムわくわく座  
☎ 096-288-5600 FAX 096-288-0808

## 益城町 PROGRAM 益城町が学んだ教訓 ～震度7×2～

熊本地震では、気象庁観測史上初の「震度7」を2回観測し、甚大な被害が発生した益城町において、当時の体験談(語り部による講話)や震源となった天然記念物「布田川断層帯」の見学(現地ガイドによる案内)を通じ、自助や共助について学ぶとともに、防災や減災等危機管理の意識を高めます。

### ○ 益城町が伝えたい「教訓」

- 災害時、親が子どもを守れる保証はない。自分の身は自分で守ること。
- あなたの助けを必要とする人がいる。お互いに支えあうこと。
- 身を守る術を日ごろから考えておくこと。身を守るために、必要な知識を身に付けること。



### ○ スケジュール (所要時間:120分)

- 語り部講話 …………… 40分
- 谷川地区断層見学(現地ガイド) … 35分
- 堂園地区断層見学(現地ガイド) … 25分



### ○ 見学ポイント

**堂園地区** 堂園池に隣接した農地に露出した断層を“クランク状”に見える畦(あぜ)や作物から横ずれ断層の規模と共に視覚的に確認できます。

**谷川地区** 同一視点より、「V字型」に表出した共役断層を確認することができる国内でも稀な地区。地表地震断層が建物等の構造物に及ぼす影響やその規模を視覚的に感じることができます。

### ○ 受入人数

30～200人程度(1～5クラス)  
※該当人数以外の場合はご相談ください

### ○ 料金

講話+断層1か所:600円  
講話+断層2か所:800円

### ○ 対象

中学生、高校生

### ○ 申し込み・問い合わせ

益城町語り部の会  
事務局:NPO法人益城だいすきプロジェクト・きままに  
☒ kimamani@hinokuni.kumamoto.jp

## 阿蘇市 PROGRAM 火山と共存する阿蘇人から学ぶ防災

自然災害のメカニズムをはじめ、地域の自然環境や、防災・減災について学習します。阿蘇がもたらす恩恵(景観、温泉、食など)を知り、そこに住んできた人々が火山と共存しながら生活してきた知恵を現地ガイドの話を通じ、学ぶことができます。

### ○ スケジュール (所要時間:90分)

- 映像(阿蘇のなりたち) … 15分
- プレゼンテーション …… 30分
- 館内展示案内 …………… 45分



阿蘇火山博物館



阿蘇人によるプレゼンテーション



阿蘇人から館内展示案内

2016年の熊本地震によって、阿蘇でも大きな被害を受けました。その中で、地震のメカニズムや防災・減災への心得、復旧・復興の在り方など、私たちはたくさんの方を学びました。それらのことを実際に体験した阿蘇人(あそもん)が、わかりやすく子どもたちに語り伝えます。

(公財)阿蘇火山博物館  
館長 池辺 伸一郎



### ○ 受入人数

～200人  
※200人を超える場合はご相談ください

### ○ 対象

中学生、高校生

### ○ 料金

中学生:1,000円  
高校生:1,200円

### ○ 申し込み・問い合わせ

(公財)阿蘇火山博物館 ※9:00～17:00  
☎ 0967-34-2111

## 南阿蘇村 PROGRAM 南阿蘇からはじまる未来 ～明日への懸け橋～

南阿蘇村では、地震動による山腹崩壊や地すべりなど山間地特有の現象により、道路や橋梁等の交通インフラにも甚大な被害が発生しました。数千年に一度といわれる直下型の大地震の被害の大きさや教訓を後世に伝えていくため震災遺構を保存し、防災・減災への意識を高めます。

### ○ スケジュール (所要時間:80分)

- 講話(語り部) …………… 40分
- 現地ガイド …………… 40分  
(阿蘇大橋、長陽大橋付近、高野台)  
※現地を2か所見学する場合の  
全体所要時間は120分



講話(語り部)



現地ガイド(阿蘇大橋)

### ○ 見学ポイント

#### 大規模斜面崩壊と崩落した阿蘇大橋

幅約200m、長さ約700mの大規模斜面崩壊が発生し、阿蘇大橋崩落を始めとする阿蘇への主要道路・鉄道が寸断。熊本地震による最大規模のインフラ被害となり、生活・観光・物流に大きな爪痕が残りました。現地では右横ずれ断層も確認できます。

#### 高野台の大規模地すべり

平均傾斜15度の緩勾配にも関わらず、表層(5～10メートル)が約600メートル滑り落ちる大規模な地すべりが発生し、住宅5棟が倒壊。発災直後の救助活動は地盤が不安定で難航しました。現在は更地となり、防災公園としての整備が予定されています。

### ○ 受入人数

30～160人程度(1～4クラス)  
※該当人数以外の場合はご相談ください

### ○ 料金

講話+遺構1か所:500円  
講話+遺構2か所:700円  
出張講話:応相談

### ○ 対象

中学生、高校生

### ○ 申し込み・問い合わせ

(一社)みなみあそ観光局  
☎ 0967-67-2222  
☒ contact@minamiaso.info